

安心して下さい！ 防災やっていますよ！

災害対応のキーワードには「知る・備える・伝える」があります。それらキーワードを実行に移すために「災害とは何か？」「備えるとはどういうことなのか？」「災害が起きたときに何ができるのか？」を理解した上でなければ活動はできません。しかし、これらは大きな災害が発生すれば一時的に盛り上がる特異性を持っています。重要なことは一時的に盛り上がるのではなく、継続して活動するということが本当に大切なことなのですが、中々継続ができないものです。何故か？そこには継続できない理由が潜んでいます。それは何の為に防災活動をやるのか。定義が成されていないのです。では、継続させる為に何か良い方法はないのか？この問題を掘り下げて考えてみましょう。

大災害を振り返り「明日に備える」その為に何をどのようにすればよいのでしょうか？そこには経験した誰もが気付いているのかどうかというものがあります。過去の災害後に自分が行ったことの「反省点は何なのか？」と云うことです。「反省点？」とは何だろうと思われるかもしれません。それは阪神淡路大震災以降、数々の災害が発生しました。それら災害をうけて「あなた自身！何がどのように？自分は変わったのか？」答えることはできるかです。これをハッキリと答えられるようにならなければならないのです！

そこには、色々なご意見や思いがあると思います。ある人は「ボランティアしています」「義援金をしました」「被災地支援をしています」等々。確かにこれらは非常に良いことであり、多くの人の助けとなり、力となっているのでしょう。しかし、これらはあなたの「明日への備え」ではないのです。そんなことはないだろう！とお叱りを受けるかもしれません。確かに経験値の共有となり、知識や知恵の加算となります。

でも、ここで云いたいことは「明日に備えるために、自分自身の反省点は何なのか！」と云うことなのです。数々の災害をうけて「私はこのように変わった！」と説明できることが重要なのです。

あなたにこのようなことを問う限りは、私自身の反省点をお話しさせて頂きたいと思います。

私は、阪神淡路大震災の直後の経験「人生の中で一番大きな反省点となる事」が起こりました。それが今の防災に関わる切っ掛けとなります。



私はこの話を活字にすることは初めてとなります。

1995年1月17日、大地震が発生して、2～3日後のことです。お客様へ納品した品が

地震の揺れにより、倒れたり、傾いているとの数多くの連絡が入ります。17日午前中は被災地から加古川に電話は繋がっていました。私は、翌朝から神戸市内に入り復旧をしていくこととなります。しかし、お客様の家は目印も無くなり、手元にある住宅地図さえ役立たない。あったはずのものが見当たらない。自分の知る景色ですらないのです。そんな中、あるお客様宅



を探す為に、神戸市東灘区を歩いている時、ひとりの女の子とすれ違います。『お父さ～ん、お母さ～ん』と叫ぶ小学校5～6年生の女の子に出会いまし

た。この女の子のことは今でも記憶に焼き付いています。『お父さん、お母さん』と叫んでいる声があったのにもかかわらず、私は、その女の子に声を掛けることもせず、何もしてあげなかったのです。お客様宅で仕事を終え、真夜中に自宅に戻り、自分の子どもの寝顔を見た時に、何故あの時に、あの女の子に声を掛けてやらなかったのだろうか。あの時にあの子に声を掛けていればと涙が溢れ止まりませんでした。あの女の子のお父さんやお母さんは無事だったのか？そうではなく？全く答えの出すことのできない経験をしてしまったのです。何故、声を掛けなかったのか？たったひと言「どうしたの？」でも良かったらうし、お父さんやお母さんを一緒に探してあげるべきだった、仕事なんて後でやれば良かったのです。

あの日の反省点を掘り下げてみます。簡単だと思われることが実は簡単にできることではなく「自分の強い意志でやる必要性」。誰にでもできると思っていることが本当は「もの凄くパワーのいること」。当たり前前のことが本当は当たり前前にできないことを知らない「慢心したな自分があること」。戻れるならあの日に戻って「あの子に声を掛けてあげたい！」他にもまだまだ云いたい想いはあります。ただ、この日の出来事が私を変えました。人生における「道しるべ」が目の前に現れ、誰かが私に教えてくれたのです。明日への備えは『挨拶からスタートする』と！「挨拶」をして、人間関係を築き、イザと言う時に備えろ！と。これらのことから「防災の定義」を知ることになります！守るべきものの定義「防災とは大切な人を守ること」です。これが私の反省点であり、防災の原点です。そこには「楽しく」が重要であり「お互い様」を忘れてはいけないことも知りました。

「楽しいまちをつくろう！」まだまだグリーンシティは道半ばです。今後とも皆様のご協力、ご支援よろしく申し上げます。グリーンだより300号を記念に、数回に分けて「防災・思いの丈」をお伝えしたいと思います。次回は「まち・町・街とは？」